

PAT-NO: JP02002019543A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002019543 A
TITLE: AUTOMOTIVE DASH INSULATOR
PUBN-DATE: January 23, 2002

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
MATSUSHITA, MASAhide

COUNTRY
N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME
KASAI KOGYO CO LTD

COUNTRY
N/A

APPL-NO: JP2000203430

APPL-DATE: July 5, 2000

INT-CL (IPC): B60R013/08

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve pressing-in workability by a foot of a worker when installing a dash insulator at a specified portion on a dash panel.

SOLUTION: This dash insulator 1 is structured by laminating a sound absorbing layer 11, and a skin layer 12 in order from the engine room 5 side. A plurality of projections 15 is provided on the vehicular room 6 side on the skin layer 12 in at least a relatively smooth portion 14 of the dash insulator 1.

COPYRIGHT: (C)2002,JPO

----- KWIC -----

Abstract Text - FPAR (1):

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve pressing-in workability by a foot of a worker when installing a dash insulator at a specified portion on a dash panel.

Abstract Text - FPAR (2):

SOLUTION: This dash insulator 1 is structured by laminating a sound absorbing layer 11, and a skin layer 12 in order from the engine room 5 side. A plurality of projections 15 is provided on the vehicular room 6 side on the skin layer 12 in at least a relatively smooth portion 14 of the dash insulator 1.

Title of Patent Publication - TTL (1):

AUTOMOTIVE DASH INSULATOR

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-19543

(P2002-19543A)

(43)公開日 平成14年1月23日(2002.1.23)

(51) Int.Cl.7

識別記号

B 6 0 R 13/08

FI

B 6 0 R 13/08

テークアウト(参考)

3 D 0 2 3

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全 4 頁)

(2) 出願番号 特願2000-203430(P2000-203430)

(22)出願日 平成12年7月5日(2000.7.5)

(71)出願人 000124454

河西工業株式会社

神奈川県高座郡寒川町宮山3316番地

(72)発明者 松下 雅英

神奈川県高座郡寒川町宮山3316番地 河西

工業株式会社内

(74) 代理人 100083954

弁理士 青木 輝夫

Fターム(参考) 3D023 BA02 BB17 BC01 BD12 BE03

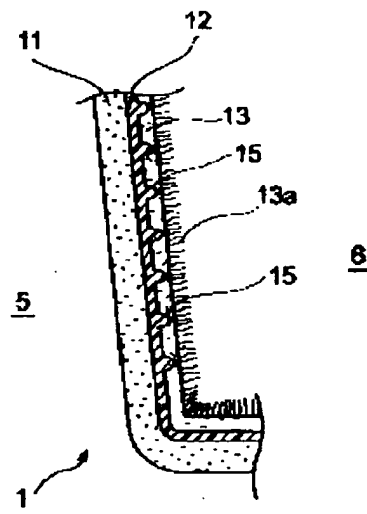
BFD6

(54) 【発明の名称】 自動車のダッシュインシュレータ

(57) 【要約】

【課題】 ダッシュパネルの所定位置にダッシュインシュレータを装着する際の作業者の足等による押込み作業性を向上させる。

【解決手段】 ダッシュインシュレータ1は、エンジンルーム5側より吸音層11、表皮層12を順次積層して構成しており、ダッシュインシュレータ1の少なくとも比較的略平滑部分14における表皮層12の車室6側に、複数の突起部15を形成した。



| | | | |
|----|-------------|----|-------|
| 1 | ダッシュインシュレータ | 12 | 表皮層 |
| 5 | エンジンルーム | 13 | カーペット |
| 6 | 車室 | 14 | 略平滑部分 |
| 11 | 吸音層 | 15 | 突起部 |

【特許請求の範囲】

【請求項1】 自動車の車室とエンジンルームとを区画すべく、前記エンジンルーム側より吸音層、表皮層を順次積層して構成するダッシュインシュレータであって、該ダッシュインシュレータの少なくとも比較的略平滑部分における前記表皮層の車室側に突起部を形成したことを特徴とする自動車のダッシュインシュレータ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、自動車の車室とエンジンルームとを区画し、エンジンルーム側の騒音の吸音作用を行う自動車のダッシュインシュレータに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来この種ダッシュインシュレータとしては、図8に示すようなものが知られている。

【0003】 これによれば、インシュレータaは、略中央に変速機等の突起物を回避するためのトンネル部bやハーネス、ステアリングシャフト、エアコンディショナのダクト等を挿通させるために複数の挿通孔c等を有して構成しており、図8のB-B断面図である図9に示すように、圧空アシスト成形等により、エンジンルーム側から吸音層d、表皮層eを順次積層して構成している。

【0004】 そして車体のダッシュパネル形状が深いものやダッシュインシュレータaの表皮層eの密度の高いもの等にあつては、作業者が車体のダッシュパネルの所定位置に装着するにあたって、例えば、ダッシュインシュレータaの形状を保持させながらダッシュインシュレータaの比較的平らな場所例えば符号gで示す部分を足等を用いて押し込むことによって行っていた。さらに、ダッシュパネルの所定位置に装着したダッシュインシュレータaの車室側には、カーペットfを積層していた。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、表皮層eの足等を用いて押し込む部位は、比較的平滑になっているために、足等による押し込み動作の際、足等が滑ってしまい、作業性が良くなかった。また、カーペットfがダッシュインシュレータaに積層されているだけなので、カーペットfのダッシュインシュレータaに対するずれが発生していた。

【0006】 本発明は、かかる点に鑑み、作業者の足等に拠る押し込み作業性を向上させると共に、カーペットのダッシュインシュレータに対するずれを防止することを目的としている。

【0007】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために、本発明は、自動車の車室とエンジンルームとを区画すべく、前記エンジンルーム側より吸音層、表皮層を順次積層して構成するダッシュインシュレータであって、該ダッシュインシュレータの少なくとも比較的略平滑部分

における前記表皮層の車室側に突起部を形成したことを特徴とするものである。

【0008】 本発明によれば、比較的略平滑部分における表皮層の車室側に突起部を形成しているため、作業者の足等でダッシュインシュレータの押し込み作業を行っても、足等が滑ることがない。また、カーペットのダッシュインシュレータに対するずれを防止できる。

【0009】

【発明の実施の形態】 先ず、図1乃至図3を用いて本発明における実施の形態を説明しており、図1は本発明における実施の形態によるダッシュインシュレータの斜視図、図2は図1におけるA円内の拡大図、図3は図2におけるA-A断面図である。

【0010】 図1乃至図3において、インシュレータ1は、略中央に変速機等の突起物を回避するためのトンネル部2やハーネス、ステアリングシャフト、エアコンディショナのダクト等を挿通させるための複数の挿通孔3あるいは前輪タイヤを回避するための凸状部4等を設けて構成している。

【0011】 そして、ダッシュインシュレータ1は、図3に示すように、エンジンルーム5側から車室6側に向かって、圧空アシスト成形等により一体成形された吸音層11、表皮層12を順次積層して構成している。

【0012】 そして、ダッシュインシュレータ1は、作業者がダッシュパネルの所定位置に装着する際に足等により押し込む場所として比較的平らに成形された略平滑部分14を有して構成しており、略平滑部分14における表皮層12は、車室6側に予め多数の突起部15が形成されている。

【0013】 突起部15は、略平滑部分14における表皮層12に、規則的に整列された小突起で構成している。

【0014】 このように構成する場合、作業者の足等でダッシュインシュレータ1の押し込み作業を行っても、突起部15が作業者の足等に引っ掛かるので、作業者の足等のすべりを防止でき、作業性が向上する。

【0015】 また、ダッシュパネルの所定位置に装着したダッシュインシュレータ1の車室側にカーペット13を積層した状態では、突起部15がカーペット13に引っ掛かるので、カーペット13のダッシュインシュレータ1に対するずれを防止できる。

【0016】 図4乃至図7は、ダッシュインシュレータ1の略平滑部分14における表皮層12に形成した突起部15のパターンの例を示している。

【0017】 図4によれば、突起部15は、略平滑部分14における表皮層12の全体に、不整列に配置された小突起で構成している。

【0018】 図5によれば、略平滑部分14における表皮層12において、横方向(車体左右方向)に比較的長く延在するように形成された多数の帯状突起を整列形成し

て構成している。

【0019】図6によれば、略平滑部分14における表皮層12において、縦方向(車体上下方向)に比較的長く延在するように形成された多数の帯状突起を整列形成して構成している。

【0020】図7によれば、略平滑部分14における表皮層12において、縦方向(車体上下方向)に比較的長く傾斜して延在するように形成された多数の帯状突起を整列形成して構成している。

【0021】更には、突起部15は、例えば図2や図4に示す小突起の場合、互いに異なる大きさの小突起で構成することも考えられ、また図5乃至図7に示す帯状突起の場合、互いに幅の異なる帯状突起を並列させて構成することも考えられる。

【0022】

【発明の効果】本発明によれば、比較的略平滑部分における表皮層の車室側に突起部を形成しているので、作業者の足等でダッシュインシュレータの押込み作業を行っても、突起部が作業者の足等に引っ掛かるので、作業者の足等の滑りを防止でき、作業性が向上する。

【0023】また、ダッシュインシュレータの車室側にカーベットを積層した状態では、突起部がカーベットに引っかかるので、カーベットのダッシュインシュレータに対するずれを防止できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明における実施の形態によるダッシュインシュレータの斜視図である。

【図2】図1におけるア円内の拡大図である。

【図3】図3は図2におけるA-A断面図である。

【図4】本発明における他の実施の形態を示す図1におけるア円内の拡大図である。

【図5】本発明における更に他の実施の形態を示す図1におけるア円内の拡大図である。

【図6】本発明における更に他の実施の形態を示す図1におけるア円内の拡大図である。

【図7】本発明における更にもう一つ他の実施の形態を示す図1におけるア円内の拡大図である。

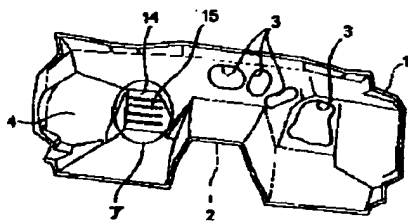
【図8】従来の自動車のダッシュインシュレータを示す斜視図である。

【図9】図8におけるB-B断面図である。

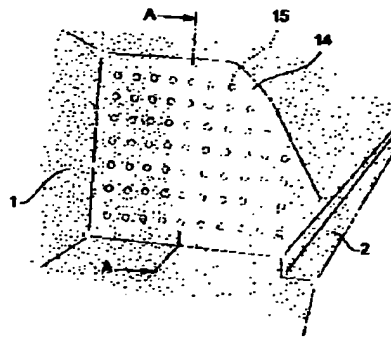
【符号の説明】

- 1 ダッシュインシュレータ
- 5 エンジンルーム
- 6 車室
- 11 吸音層
- 12 表皮層
- 13 カーベット
- 14 略平滑部分
- 15 突起部

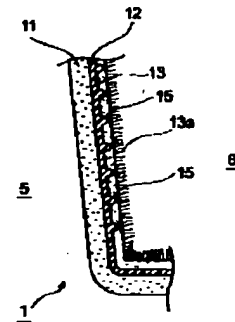
【図1】



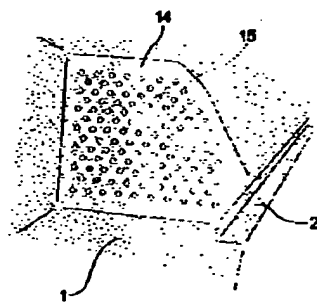
【図2】



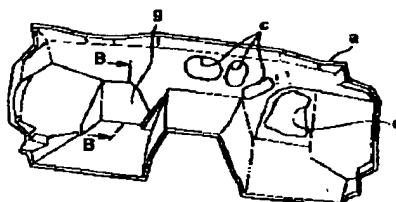
【図3】



【図4】

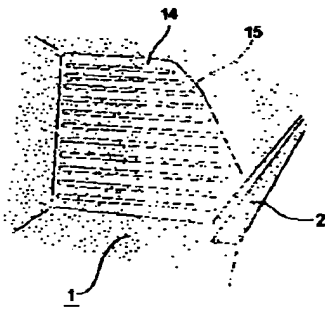


【図8】

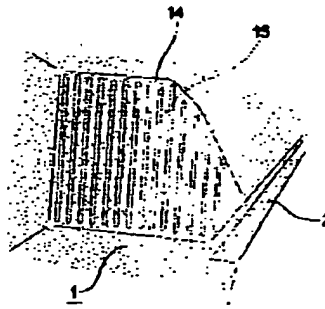


- 1 ダッシュインシュレータ
- 5 エンジンルーム
- 6 車室
- 11 吸音層
- 12 表皮層
- 13 カーベット
- 14 略平滑部分
- 15 突起部

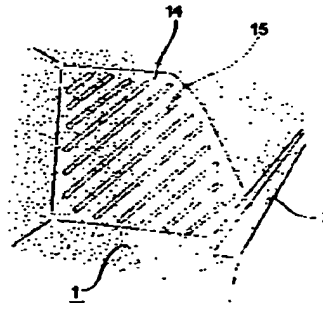
【図5】



【図6】



【図7】



【図9】

